

Date:2018/6/29



金沢工業大学で反転授業!? 利賀ダム工事現場へ見学に来ました



「反転授業」という言葉をあまり耳にすることがないかもしれません。

普段の授業では、学校で問題の解き方を学んだ後に、学校外で宿題をしますが、反転授業では、事前に自ら宿題(課題)に取り組んだ後に授業や現地での解説を通じて理解を深める授業の進め方です。

今回は、金沢工業大学工学部環境土木学科1年生を対象に、“反転授業”を行ってきました。



講義の様子



約100名の前で講義

富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所との3事務所合同で講義を行いました。利賀ダム工事事務所からは、「ダムの役割」、「ダムの作り方」、「鋼橋の種類や施工方法」を課題として講義を行ってきました。

まだ一年生ということで、少し難しかったかもしれませんが、皆さん、真剣に講義に耳を傾けていました。

講義のあとは、現地見学に出発です。

講義の後、生徒49名が、利賀ダムの工事用道路の一部でもあり、庄川の新たなランドマークとして期待されている「利賀大橋」へ現場見学に来ました！

橋梁形式決定に当たり、金沢工業大学の水野教授が委員長として関わったことや、大学OBである当事務所職員から、橋梁の特徴、工事概要等の説明を受けました。また、若手職員による入省の動機や仕事のやりがい等について話があり、生徒さんは熱心に耳を傾けていました。

生徒は初めての現場見学というのもあり、利賀大橋の規模や景観に対する配慮など、とても興味を持っていただけたと思います。

今回の反転授業を通して、今後の就職活動の参考にしていただきたいと思います。



職員(大学OB)による説明



橋を見下ろす生徒



集合写真